

あったかトーク

第26号 2018年春号

ひぐちのりこ事務所
(青葉区版)
発行人 樋口 典子

1959年仙台市生まれ 管理栄養士
社民党仙台市議員
●都市整備建設常任委員会
●地域経済活性化調査特別委員会
●議会運営委員会

「人とまちがともに育つ新たな杜の都に向けて」 郡市政初の予算編成、計76議案を審査

2018年第1回定例会市議会は2月13日から3月14日まで開かれ、来年度の一般会計をはじめ各会計予算案など、計76件議案審査を行いました。

議会冒頭で施政方針についての表明が行われ、「人を育み、人がつながるまちづくり」「まちを育む、活カデザイン」「次代へつなぐ、防災環境都市」の3つの柱を掲げて市政を運営していく決意が示されました。

35人以下学級の拡充、 いじめ対策推進室を設置

郡市長の公約に掲げられていた35人以下学級を新年度から中学2年まで拡充するほか、スクールカウンセラー等の増員や不登校学校訪問相談員の配置、「いじめ対策推進室」の設置などを示しました。

切れ目のない子育て支援策として、「(仮称)つなぐ、つながる仙



台子ども応援プラン」の策定などが提案されました。

地域交通へ支援策を拡充

定禅寺通活性化推進事業、高齢化と人口減少に対応した郊外住宅・西部地区のまちづくりプロジェクトなどに取り組むこととしました。

東北大学青葉山キャンパスに整備が計画されている「東北放射光施設」支援策、地域ブランド構築など中小企業経営強化、2019年度開催予定のG20閣僚会議のコンベンション誘致なども積極的に対応していくことになりました。

復興公営住宅の家賃軽減策を継続

復興公営住宅に入居して6年目以降段階的に引き上げられることになっていた家賃について、入居者の意見を反映させる形での10年目までの据え置きが決定。せんだい防災フォーラムの開催、市中心部に震災復興メモリアル施設の整備などを目指すことになりました。

「民泊」制度の条例化など

条例関係では、国の「住宅宿泊事業法」(いわゆる「民泊」)の制定



に対応し、原則土曜日の1泊に限るという市独自の「仙台市住宅宿泊事業法の施行に関する条例」の新設のほか、発達相談支援センターで診療事業を行うことができるようにすること。「介護治療院」の設置、介護施設サービスと障害者サービス事業が一体となった事業を提供できるようにするための改正案も提案されました。

人事案件では新副市長に高橋新悦水道事業管理者、新教育長に佐々木洋健康福祉局長が就任することとなり、外部からの登用はありませんでした。

その他の案件では、若林文化センターや生涯学習センター等の指定管理者指定の件や、県公安委員会の委員、人権擁護委員の推薦に関する件も上程されました。

意見書案は「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」が提出され、ひぐちのりこ議員が賛成討論をしましたが、賛成者少数で否決となりました。

ひぐちのりこ 市政報告 & おしゃべり会

市議会報告と、今後の仙台市のビジョンなど話し合っていきたいと思います。お子様連れでも参加いただけます。

◆日時/4月26日(木) 15時~(1時間くらい)
◆会場/ひぐちのりこ事務所 ◆人数/10名様くらい

出入り
自由
無料

ひぐちのりこ事務所
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマヴェーラ杜王101
TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172

セブンイレブン側からお入り下さい。
お気軽にお立寄り下さい!

ひぐちのりこ 東奔西走!

1.23・24 地域経済活性化特別委員会委員会視察

23日は、岡崎市と岡崎商工会議所の運営で、経営戦略などの相談を担っている岡崎ビジネスサポートセンターの視察を行いました。相談に来られる方の三割が、女性で、企業の自主性を重んじながら、自由な発想

を持ち、他組織とのコーディネートなども行っています。

24日は川崎市経済労働局、公益財団法人川崎市産業振興財団が進めている中小企業の支援についてのレクチャーを受けました。さらに、社員の70%が知的障がい者で我が国のダストレスチョコレートの6割以上の生産をしている日本理科学工業株式会社の視察をしました。その人にあった仕事内容の指示をすることで、高度な技術者になることなど働くことの基本を再認識いたしました。



岡崎市ビジネスサポートセンター。託児も行っています。

1.30 会派「市政・予算要望」回答

子どもの権利条例については、制定の必要性等を含め、幅広く検討していきたい。女川原発の再稼働について市民の安全・安心を第一に、市民生活や経済活動への影響等を踏まえ、総合的に判断していくべき。

貝ヶ森市民センター改修については状態を精査し必要な対応を検討していく。国見ヶ丘の除雪・凍結防止作業については、道路除雪等計画書に基づき、バス路線などを中心に、適切に対応していきたい。ラサンタの魅力発信については豊かな自然環境や温泉などの地域資源を活用した魅力発信や受入環境整備に努めていくなどでした。



市当局から会派で回答の説明を受けました。

2.26 犯罪被害者等への市営住宅入居について質問

犯罪被害者等で従前の住居に居住することが困難となった方の仙台市営住宅への入居資格を緩和する条例が示され、都市整備建設常任委員会で質しました。募集の対象は今年の6月の定期募集からと考えており、年齢にかかわらず単身入居を可能とするものであること。宮城県警と協議が整ったのちに、要綱などの改正をしていきたいと考えている。制度について配偶者暴力相談支援センターなど関係機関への周知、民生委員、社会福祉協議会支援員へも周知を行ってほしいとのことでした。

いじめ対策等調査特別委員会での取り組み

市議会いじめ問題等対策調査特別委員会では、1月29日、いじめ防止に取り組む若林区の南小泉中を視察し、教師や生徒6人と意見を交換しました。また2月7日の理事会には、これまでに論議を重ねた内容が盛り込まれた中間報告書の素案が示されました。学校、保護者、地域住民などそれぞれの立場で取り組むべき対策を明記したほか、「いじめは全ての子どもに起こり得る」との認識に立って施策に活かすことが重要とされています。各会派で素案を協議し、4月下旬の決定を目指すこととなっています。

たくさんの皆さんの声を聞きます!



3.1

妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援について質問

新年度から産婦健康診査助成や産後ケア事業、助産師サロンの実施を予定している。男性の育児参加については、妊産婦だけでなく、パートナーが妊娠・出産・育児についての知識や技術を習得し、育児に主体的に取り組めるよう啓発に努めている。女性のやせ願望に関連して、妊娠中に妊婦の体重が適正に増加していかないと、その赤ちゃんは低出生体重

児で生まれる傾向があり、将来糖尿病や心臓病になるリスクが高まることから、妊娠期においてはバランスよい食事をとることが必要など啓発をしている。出産直後の早期からの継続的な支援の取り組みは、その後子どもと育ちという視点からも大変重要であり、妊娠期からの切れ目のない支援をさらに充実していきたいとの答弁でした。



産後うつ予防についても質問しました。

3.12

仙台市バス等の乗客数アップ策と、痴漢等の対策について質問

本市バス事業の乗客数を上げるための施策について、バス利用が地球温暖化防止になることを「見える化」した山形市のベニちゃんの取り組みなどを事例に質しました。本市では「環境定期券制度～休日カルガモ家族～」やアイドリングストップバス導入などに取り組んでいる。様々な主体がバスなどの公共交通利用者の増加を目指すため、様々なソフト施策を推進しているとのことでした。

市バスや地下鉄での痴漢・盗撮事案は2016年25件、17年25件、18年は3カ月弱で36件となっています。事業者としての取り組みでは、すべてのバスでのドライブレコーダー設置。地下鉄では非常時通報ボタンの活用。さらに交通事業管理者からは痴漢などは卑劣な行為である。撲滅のため常に改善を図っていききたいと、述べられました。



乗客数がV字回復した山形市「ベニちゃんバス」

ひぐちのりこ 主な活動日誌

1月22日 「地域ケア会議における専門職の役割」講座

1月26日 「傷ついた子どものレジリエンス」セミナー

1月29日 いじめ問題等対策調査特別委員会理事会「南小泉中学校視察」

1月30日 優生保護法下での強制不妊手術被害者による訴訟 記者会見

2月1日 山形市ベニちゃんバス行政視察

2月5日 いじめ問題等対策調査特別委員会

2月7日 地域経済活性化調査特別委員会

2月9日 財政研究会講座

2月11日 2.11信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会

2月12日 保育士のための合同就職説明会in仙台

2月16日 優生保護法下での強制不妊手術学習会

3月10日 仙台市立第一中学校卒業式

3月11日 東日本大震災仙台市慰霊式

3月16日 仙台市立国見小学校卒業式

これからの主な予定

4月9日 仙台市立国見小学校入学式

4月10日 仙台市立第一中学校入学式

4月20日 都市整備建設常任委員会

4月25日 いじめ問題等対策調査特別委員会

5月9日～10日 政令市議会政策研究会

5月17日 地域経済活性化調査特別委員会

5月22日～23日 議会運営委員会視察

5月27日 フェミニスト議員連盟総会・研修会

6月7日～22日 仙台市議会第2回定例会

保育士の処遇改善など一般質問しました

保育士人材確保、保育の質の向上について質問しました。

本市では面積基準を国基準よりも広くしているほか、保育士加配などへの助成、保育従事者への研修などを実施してきた。今後も、保育の質の確保・向上に取り組んでいきたいとの答弁でした。



私立認可保育所の人件費率と人件費について

仙台市私立認可保育所全体の人件費の割合の平均は74.8%で、保育所によって、47.9%から87.1%まで差がありました。事業形態では社会福祉法人などでの人件費率平均が77.8%ですが、株式会社などでの平均が63.3%と約15ポイント差があります。

複数の保育所を運営している事業者の場合、人件費率が80%を超えている事業者がある一方、経営する8施設すべての保育所の人件費率が50%台ときわめて低い事業者もあります。市は人件費率の差と人件費の用途を把握しているのか、賃金との関

連について質問しました。

人件費率の現状については各保育所から提出を受けている決算書などで確認している。しかしながら、人件費については、年齢や経験年数、役職などの構成により、大きく異なり人件費比率をもとにした指導や一律の対応は困難なものと考えている。指導監査などにおいて、従事者ごとの給与の状況を把握し確認を行っており、必要に応じた指導を実施していきたいとのことでした。



保育所監査の体制強化

子ども・子育て新制度を踏まえた保育の推進や保育所保育指針などの改訂よっての監査体制の強化を求めました。

保育施設などの種類や数が増加していることから、対応が必要と考えており、新年度も担当職員を増員し、体制の強化を図ってきたいと答えました。



仙台市幼児教育の指針



本市の就学前の子どもたちの育ちについての拠りどころとなる「(仮称)仙台市幼児教育の指針」について、昨年末に行われたパブリックコメントでの市民意見が幅広

く取り込まれ、市民協働の指針となったことについて見解を聞きました。

策定にあたっては、市内全ての幼稚園、保育所、認定こども園を対象にアンケートを実施したほか、策定検討委員会の設置、中間案に対するパブリックコメントの実施

などにより、多くの方々の参画と協力をいただいた。本指針のもと、仙台の未来を担う子どもたちの健やかな育ちと学びを支援していきたいとの答弁でした。

市議会 ひぐちコラム

今回の予算等審査特別委員会では、旧貝森小学校校舎を公文書館的施設とする設計及び改修についての予算が計上されました。これまで跡施設利用については地域の説明会でも常駐の職員配置、閲覧のスペースを設けること、貝森小学校の思い出の品の活用など様々なご意見が寄せられたことを受け、会派の総括質疑で、設計段階から丁寧な説明と地域の声を反映させるよう求め、前向きな答弁を得ました。貝森小学校閉校時の卒業生は今年中学を卒業しました。新たな地域のよりどころとなることを期待しています。



(仮称) 歴史的公文書センターとなる旧貝森小学校校舎。

ホームページ

<http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

ひぐちブログ

<http://nohiguchi.jugem.jp/>

ツイッター

twitter アカウント名
#nohiguchi

Facebook

facebook ページ
<http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



QRコード

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172